

総合戦略の実施状況について

総合戦略の進捗状況

【総合目標、基本戦略の数値目標の状況】

○就業者数は、目標をわずかに下回る水準であるが、就業率はわずかに改善

○観光客数は、2年連続大幅増(32.3万人→39.2万人→51.3万人)

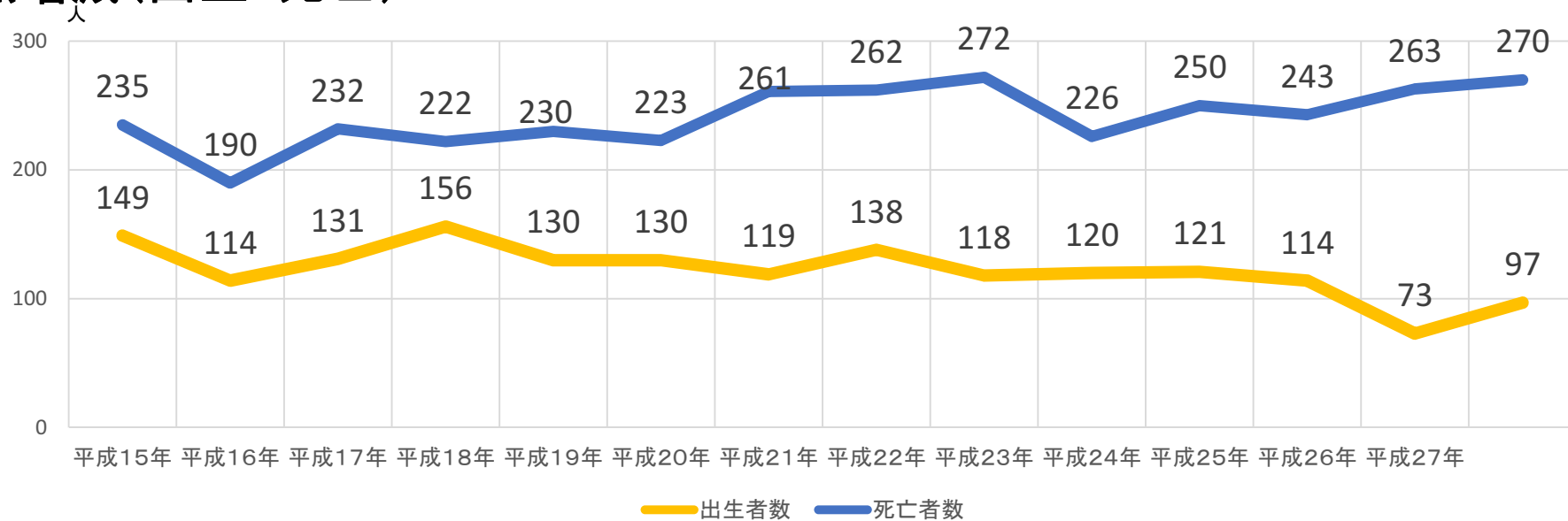
○出生数、社会減数は、厳しい水準が続いているが、平成27年と比べ若干改善

	目標値	実績値
総合目標	人口(平成32年):17,000人	16,985人(平成27年) (17,520人(平成29年6月1日)) ※住民基本台帳
基本戦略①働く場	①就業者数(平成32年):9,000人 就業率(平成32年):60% ②観光客数(平成31年):470,000人	① <u>8,934人/60.0%(平成27年)</u> ※9,598人/59.8%(平成22年) ② <u>513,050人(平成28年度)</u> ※392,234人(平成27年度)
基本戦略②子育て	年間出生数(平成31年):140人	<u>97人(平成28年)</u> ※73人(平成27年)
基本戦略③人の流れ	①年間転入者数(平成31年):450人 ②年間転出者数(平成31年):450人	① <u>378人(平成28年)</u> ※401人(平成27年) ② <u>450人(平成28年)</u> ※489人(平成27年)
基本目標④環境づくり	住み続けたいと思う方の割合 (平成31年):80%	—

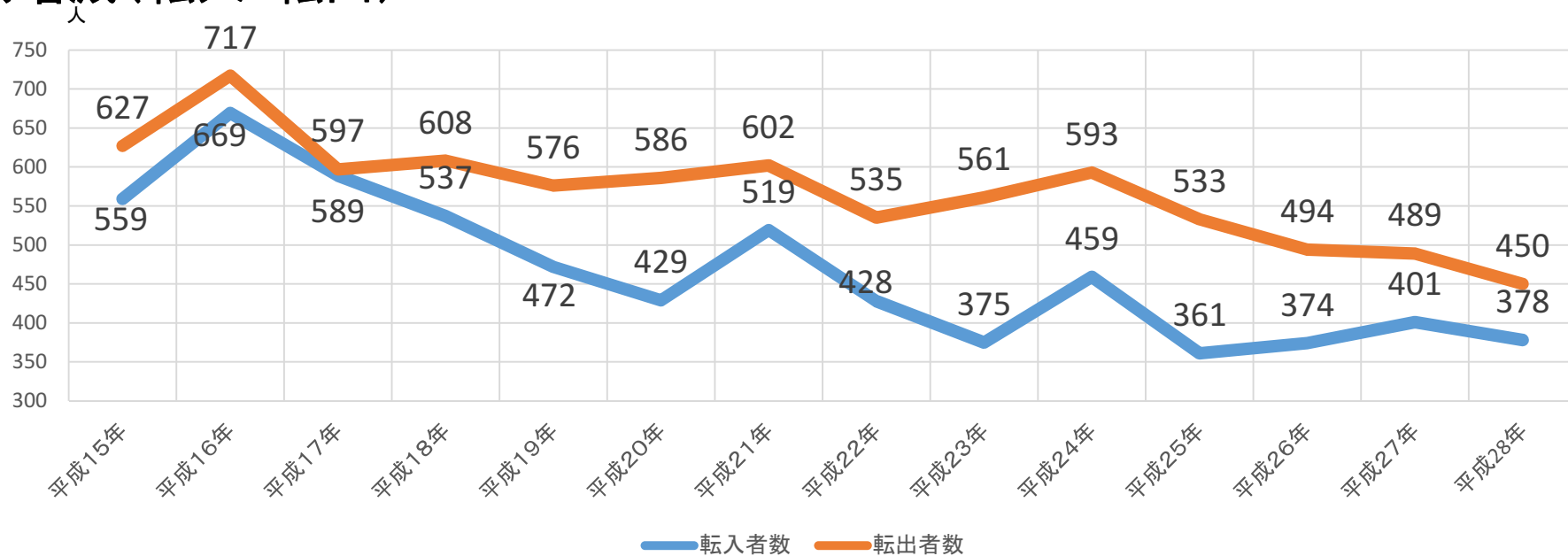
【人口動態の推移】

・自然増減、社会増減とも減少傾向が継続

自然増減(出生・死亡)



社会増減(転入・転出)



【八頭イノベーション・バレーの創設】

- ソフトバンクグループのSBヒューマンキャピタル(株)と契約締結。
- 隼小学校跡を活用した「隼Lab.(はやぶさらぼ)」の実現に向け検討。2, 3Fをビジネスゾーン、1Fは飲食も含めたコミュニティーゾーンとして整備 → 6月から工事着工・秋オープン予定
 - ※工事費約1.6億円(地方創生関係交付金を活用)
- 平成29年4月3日に運営会社((株)シーセブンハヤブサ)設立
- 新たな取組み・自動運転の連携協定締結



日本一人口の少ない鳥取県の田舎町。
地域とイノベーターたちによる新しい実験がはじまります。



コンセプト

人が集い、遊び、学び、働き、楽しめる。
そして、暮らし、育てる場所。
八頭町のライフスタイルを提案するような場所へ



改修方針・イメージ

○ビジネス利用だけでなく、地域でも利用でき、多くの人が集う拠点に

- ・ビジネス利用者と地域住民が共に活用できるコミュニティスペース【1階】
(まちづくり委員会等で利用可能な多目的集会スペース、飲食、物販など)
- ・ビジネス空間としては、ITインフラの整備及びコワーキングスペースなどのシェア(共有)空間を多用し、常時50人の従業員が活動する施設【2階・3階】

1F

地域と入居者をつなぐオープンエリア

カフェやイベントスペースといったパブリックスペースにし、
地域と移住者、入居者とのコミュニケーションを促進し新たな価値をつくる。

地域

企業



2/3F

企業スペースとコワーキングスペースによるビジネスエリア



(地方創生関係交付金の活用状況)

①地方創生加速化交付金(平成27年度補正→平成28年度実施、補助率10/10)

交付対象事業	事業概要	交付決定額	実績額
イノベーター創造地域創出事業	学校跡地など空き施設を活用しサテライトオフィスの開設など情報関係企業等の誘致を行い、新たな雇用の場を創出し、革新的な起業家(イノベーター)が活躍・発信するまちを創設する。	8,559	9,433

②地方創生推進交付金(平成28年度補正→平成28年度実施、補助率1/2)

交付対象事業	事業概要	交付決定額	実績額
イノベーター創造地域創出事業(3か年)	加速化交付金事業の継続や積極的な情報発信の実施(29年度～)に加え、併せてお試し住宅の整備を行う。(H28年度:お試し住宅に係る備品等整備)。	700 事業費:1,400	282 事業費:564

③地方創生拠点整備交付金(平成28年度補正→平成29年度実施、補助率1/2)

交付対象事業	事業概要	交付決定額	実績額
イノベーター創造地域創出事業/ビジネス×コミュニティ 隼Lab.拡充整備事業	隼Lab.設計監理、隼Lab.整備工事費(整備工事、拡充整備工事) ※平成29年6月着工	87,000 事業費: 174,000	—

【因幡但馬海幸・山幸回廊の創設関係】

- 若桜鉄道について、運行支援を実施の上、車両改修に合わせた車両の観光列車化を推進(水戸岡鋭治氏デザイン)
隼ラッピング列車を運行開始(H28.3)
- Gバス原風景コース開始、海外プロモーション活動、首都圏・関西圏プロモーション活動。その他Wi-Fiの増設、観光ガイドアプリ等を開発
- 新たな観光施設整備を全国初の地域再生計画等で支援を実施
- 八頭町PR動画を作成(「これからの日本のことやっています 八頭町」)

若桜鉄道観光列車「昭和」

外観デザイン案



イラストは基本設計段階のもので実用設計ではデザインが変更になる場合があります。
2016.03.19 EIJI MITOOKA・DESIGN ASSOCIATES



(地方創生関係交付金の活用状況)

①地方創生加速化交付金(平成27年度補正→平成28年度実施、補助率10/10)

交付対象事業	事業概要	交付決定額	実績額
遊！楽！住！県境を越えた日本一の海幸・山幸回廊づくり【鳥取県因幡地域・兵庫県北但西部地域連携事業】	鳥取県東部及び兵庫県北但西部が連携し全国に誇れる豊かな自然環境など豊富な地域資源を活用して、「点」ではなく「面」として固有の風土を生かした広域周遊観光圏を形成し、今後のDMO創設の基盤づくりを進め、本圏域へのファン獲得と魅力ある圏域づくりを実施。(観光グランドデザイン策定、Gバス原風景コース運行、首都圏・関西圏プロモーション活動、Wi-Fi増設、観光ガイドアプリ等開発等)	28,946 (八頭町分)	26,919 (八頭町分)
地域の宝・若桜鉄道の生き残りをかけた挑戦事業【八頭町・若桜町連携】	若桜鉄道の観光資源化に向けた調査研究を進めるとともに、沿線地域の観光客の増加や地域経済の活性化を図る。(沿線観光ブランディング、鉄道利用イベント、観光車両詳細設計、隼駅トイレ整備)	42,495 (八頭町分)	42,709 (八頭町分)

②地方創生推進交付金(平成28年度補正→平成28年度実施、補助率1/2)

交付対象事業	事業概要	交付決定額	実績額
地域の宝・若桜鉄道の生き残りをかけた挑戦事業【八頭町・若桜町連携】(5か年)	若桜鉄道の観光資源化に向けた取組みを推進し、沿線地域の観光客の増加や地域経済の活性化を図る。(H28年度:観光車両「昭和」活用・PR)	2,246 (八頭町分) 事業費:4,492	1,734 (八頭町分) 事業費:3,468

【八頭フルーツ街道の継承・八頭ブランドの確立関係】

- 具体的な取組内容を定める、「八頭町農業ビジョン」を平成28年3月に策定し、平成29年3月に営農支援センターの立ち上げ等の取組を推進。持続可能な力強い農業への取組を推進
- 花御所柿のGI登録及び商標登録に向けて手続き中



【安心子育て・いきいき学習のまち八頭の創設関係】



■平成28年度から、第2子以降の保育料の無償化、放課後児童クラブの延長を実施。平成29年度からは、在宅育児世帯への現金給付やヘルパーの対象を拡充を実施。

■学校教育のICT化に向け、平成28年度からの2年間で小中学校全学級に大型液晶ディスプレイとタブレット型PCをセットで整備。その後、児童生徒用のタブレット型PCの整備を推進。

■小学校における必修化が検討されているプログラミング教育を、平成28年度から全国に先駆け、隼小学校で実施。平成30年度までに町内全小学校で実施し、「プログラミング的思考」の育成を推進

総合戦略の進捗状況(その他事項関係)

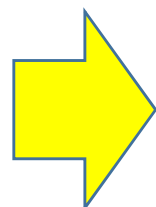
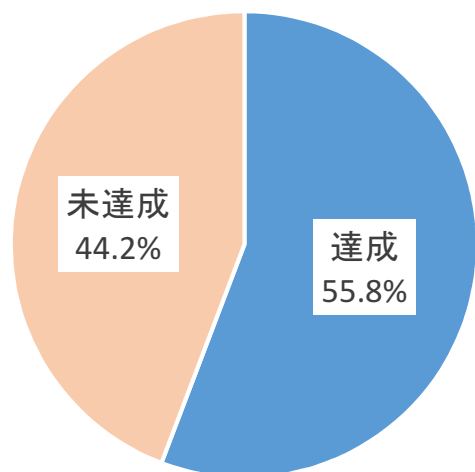
【全体の達成状況】

OKPI達成事業の割合は、55.8%(29/52) → 50.9%(29/57) に低下

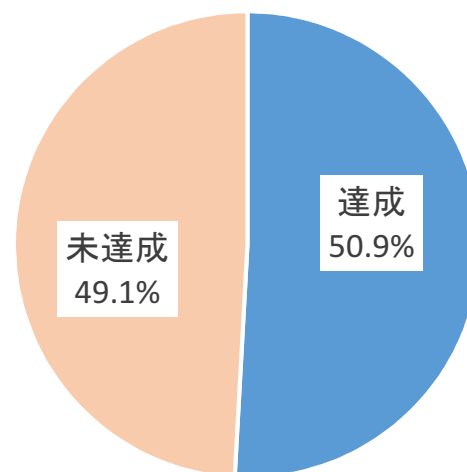
- ⇒ ・平成28年度より検討・着手を開始した事業があること(農福連携事業、お試し住宅整備、リフォーム助成等5事業)、
・平成28年度上半期までの実績等を踏まえ、目標を上方修正した事業があること(情報発信、移住定住支援等5事業)

から、全体の達成割合が低下しているが、これらの影響を除くと、達成状況は、63.5%(33/52)と順調に推移しており、引き上げた目標の達成に向けた取組を推進

平成27年度



平成28年度



(※) 目標等従前の場合

